

※日本国際政治学会の会員のみなさまに関連のある箇所からの抜粋です。(広報委員会)

=====

** 日本学術会議ニュース・メール ** No. 952 ** 2026/2/6

=====

- 【開催案内】公開シンポジウム
「いま、「排外主義」を考える～共に生きる社会は可能か」
- 【開催案内】公開シンポジウム
「研究倫理・調査倫理の現在」

■ ■ -----

【開催案内】公開シンポジウム
「いま、「排外主義」を考える～共に生きる社会は可能か」

----- ■ ■

【主催】日本学術会議地域研究委員会多文化共生分科会

【後援】関西外国語大学国際文化研究所

【日時】令和8(2026)年2月 21 日(土)13:30 ～ 16:00

【場所】オンライン開催(Webinar 形式)

【参加費】無料

【定員】1000 名

【事前申込み】要事前申込(2月 19 日締切)

以下のリンク先よりお申し込み下さい。

<https://kansai-gaidai-university.form.kintoneapp.com/public/20260221gakujutsusympo>

【開催趣旨】

近年、国際社会では、グローバル化がますます進む中で、移民・難民に対する排斥の動きが顕在化している。日本では、「外国人」に対する制度的・社会的排除や、「外国人」憎悪をあおる言葉の拡散など、「排外主義」的な状況を目にする機会が増えている。それでは何が「排外主義」なのか。現在の外国人・移民政策にはどのような背景があるのか。人種差別や人権侵害に触れる問題はないのか。そもそも多様な出身・文化背景をもつ人びとが共に生きることは可能なのだろうか。

本シンポジウムでは、これらの問題を研究してきた専門家がその知見と問題意識を共有し、続いてそれぞれの現場における実践から、共生社会を実現するためのヒントを共に模索したい。

【プログラム】<https://www.scj.go.jp/ja/event/2026/395-s-0221.html>

■■-----

【開催案内】公開シンポジウム
研究倫理・調査倫理の現在」

-----■■

【主催】日本学術会議社会学委員会・社会学系コンソーシアム

【日時】令和8(2026)年3月8日(日)13:00 ～ 16:30

【場所】オンライン

【参加費】 無料

【定員】1,000 人

【事前申込み】要

<https://forms.gle/gs8qjSLHN5QDfR1h9>

【開催趣旨】

広く調査に携わる研究者にとって研究倫理と調査倫理が重要な意味をもつことに疑いを抱く人はおそらくいないだろう。しかし実際に研究倫理と調査倫理が問われる場面に置かれたとき、研究倫理と調査倫理の遵守の仕方について、迷いを感じない人もおそらく少なくはないと思われる。何が研究倫理そして調査倫理に従った行動なのか、それは1か0かで判断できるような単純な問題でないからである。

たとえば、個人の尊厳と研究の透明性の実現はつねに明確に両立するものとは限らず、ときにトレードオフの関係に置かれる。研究の透明性や再現性を高めるためにはオープンサイエンスの流れは不可避であり、調査によって取得したデータは秘匿されるのではなく、公開されることが望ましい。しかし、どれほど匿名化処理を施したデータであっても、複数のデータセットを組み合わせることで個人を特定化できてしまう可能性は否定できない。とりわけ SNS で様々な個人情報が行き交い、さらにビッグデータを扱う時代になると、社会調査データから個人が特定される可能性は飛躍的に高くなり、個人のプライバシーや安全が脅かされる危険も高まることになる。このような社会調査データの予期されざる二次使用の可能性が高まっているとき、調査データの公開を求める研究倫理と個人の尊厳を尊重する調査倫理をどう両立させるかは、決して容易な問いとはいえない。

また、IT 関連技術の進歩は、研究の可能性を大きく広げるものであると同時に、かつては存在しなかった研究倫理上の問題を新たに提起もしている。たとえば生成 AI の登場によって、研究者は調査研究のプロセスを大幅に効率化させることができるようになった。しかし、そのことによって研究成果のオーサiershipの範囲が不明確化もしている。

以上のように、激しく変化する時代の流れのなかで、研究倫理と調査倫理を「正しく」実現することの困難さが従来以上に増しているものと思われる。本シンポジウムでは、研究倫理と調査倫理の現在を問い、社会学者が調査研究を通して社会に貢献するために今どのように行動すべきなのか、このことについての議論と理解を深めたい。

【プログラム】<https://www.scj.go.jp/ja/event/2026/395-s-0308.html>

【問い合わせ先】

社会学系コンソーシアム事務局

メールアドレス: socconsortium(a)socconso.com ※(a)を@にしてお送りください.

日本学術会議 YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCV49_ycWmnfhNV2jgePY4Cw

日本学術会議公式X

https://twitter.com/scj_info

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<https://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

発行: 日本学術会議事務局 <https://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34